

物語二百番歌合

後百番歌合

七十一番

左 むらさきのうへかくれたまひてのち、ほたるの
とびかふを御らむじて

よるをしるほたるをみてもかなしきは
時ぞともなきおもひなりけり

右 もとのうへさまかへたまへるとぶらひにわたり
たまへるよ、むしのこゑあはれなれば 関白

よもすがらおもふ心をしりがほり
じぶらぶむしのこゑぞかなしき